

ワンデーでも充実のインターンシップ 資格を生かして働く将来の姿がイメージできました。

参加のきっかけ：

管理栄養士の資格を生かし、岩手で就職したいと以前から考えていました。岩手に資格を生かせるどんな企業があるのかを知るため参加しました。学校の求人やインターネットを利用して情報を収集し、いわてU・Iターンサポートデスクに登録。夏休みに帰省した際、インターンシップに参加しました。

参加してみて：

目的は地元の企業研究でした。そのためにインターンシップ中は、疑問に思ったことは積極的に質問しました。そうしたやり取りで、お世話になった施設についてだけでなく、管理栄養士として必要な知識や技術についても幅広く知ることができました。インターンシップではミールラウンド（入所者の食事観察）の見学が印象に残っています。管理栄養士、歯科衛生士ら専門職のスタッフが食事をしている利用者の姿勢や食べ方を見て、食事しやすい態勢について話し合っていました。多様な専門職の連携が大事なことを体験することができました。

インターンシップの前は働くことに対してのイメージができず、社会人になるという自覚もありませんでした。しかし、参加して管理栄養士の理想像を見つけることができました。この経験は学生生活での学びや就職活動で必ず役立つと思います。地元就職を考えても、具体的にどんな企業や団体が求人を出しているのかを見つけるのは大変です。地元の求人情報を提供してくれる支援機関などに登録するのがいちばんの近道だと思います。

voice: サポートデスク スタッフから

松田さんが参加したのは「1DAYインターンシップ」でした。1日のインターンシップは参加しやすい、両者の負担が少ないなどのメリット、体験内容が限定されるなどのデメリットの両面があり、受け入れ企業の姿勢にも大きく左右されます。しかし松田さんは1日を有意義に過ごそうと、自分から積極的に行動することで管理栄養士として働く将来の自分の姿をしっかりとイメージできるようになったようです。それは就職活動だけでなく、大学での日々の学びにも大きな影響を与える経験になりました。短い期間でもしっかりと成果を挙げることができたのは、施設の受け入れ態勢だけでなく、松田さんのインターンシップに臨む姿勢が良かったからだと感じます。

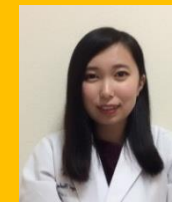
体験したのは /

松田 佳奈さん

(大船渡市出身)

宮城学院女子大学

学芸学部食品栄養学科



岩手県沿岸部の大船渡市出身。管理栄養士を目指して宮城県仙台市で学生生活を送っている。インターンシップの希望は、管理栄養士として仕事ができる食品会社、ドラッグストアや医療・福祉法人など。

実施プログラム /

大船渡市の医療法人でワンデーインターンシップ

自分が目指す管理栄養士の仕事を介護老人保健施設で体験。業務内容だけでなく、管理栄養士という職種のキャリアパスなども学ぶことができた。

実習先：医療法人勝久会（医療・介護施設の運営）

所在地：大船渡市大船渡町字山馬越188

事業内容：介護老人保健施設気仙苑、松原苑と併設する透析センターと有床診療所を拠点にグループホームや小規模多機能ホーム等を運営

介護老人保健施設で、午前は利用者の食事形態（普通食、一口大食、刻み食、ミキサー食）などの説明を受け、ミールラウンド（入所者の食事観察）を見学。

午後はフロアーミーティング、おやつ作り、カンファレンス（サービス担当者会議）に参加し、老健施設での管理栄養士の役割を体験した。